

定例会見（2024年4月10日）

議事次第

○会見者 代表取締役社長 前田 信弘

○会見内容

1. 中期経営計画2024-2026の策定
2. 2024年度 事業計画の概要
3. 新設・更新事業等の進捗状況
4. 最近の通行台数状況

1. 中期経営計画2024-2026の策定 ～安全・快適な首都高、そして持続的な進化と新たな挑戦～

- サステナブルな社会の実現と首都高グループの持続的な成長の両立を目指す
- 10年後のありたい姿を描き、バックキャストにより中期経営計画2024-2026を策定

[1] 中期経営計画2024-2026の位置づけ

基本理念

私たちは、首都圏のひと・まち・くらしを安全・円滑な首都高速道路ネットワークで結び、豊かで快適な社会の創造に貢献します。

経営理念

お客様第一
地域社会との共生
社会的責任
自立する経営
活力あふれる職場



1. 中期経営計画2024-2026の策定 ~安全・快適な首都高、そして持続的な進化と新たな挑戦~

[2] 中期経営計画2024-2026の方針

○ 社会環境の劇的な変化に対応すべく、4つの基本指針と6つの重要テーマを掲げ、首都高グループ全社員が誇りと働きがいを持ち、一丸となって計画を推進

社会環境変化

高速道路ニーズの
多様化・高度化

高速道路をめぐる変化

自然災害の激甚化

首都圏の都市構造の
変革の進展

イノベーション・ トランスフォーメーション の進展

自動運転の普及拡大

AI、情報通信等の
新技術の進展

環境・人をめぐる変化

地球温暖化をはじめ
環境問題の深刻化

本格的な
人手不足社会の到来

4つの基本指針

① サステナビリティの推進

首都高インフラの長期にわたる健全性確保にとどまらず、あらゆる分野で持続可能な社会の実現に貢献し、中長期的な企業価値を向上

- 構造物の高齢化への対応
- 危機管理、災害への備えの強化
- 快適・便利なサービスの提供
- 環境への対応、都市・まちづくりへの貢献

② 新事業創造への挑戦

首都高グループの持続的な成長に向け、首都高が持っているリソースを最大限活用し、成長が期待できる挑戦分野の開拓を推進

- 新事業創造に向けた風土醸成・仕組みづくり
- 新事業創造の具体的プロジェクトの検討・実施
 - ・自動運転の普及を見据えた次世代通信基盤の検討
 - ・利用高度化促進サービス（インバウンドをはじめとする新たなお客さまにも、よりご利用しやすい首都高とするためのサービス）の検討

③ 生産性の向上

現場重視、技術力の最大活用により、コスト縮減を推進し、効率性と付加価値を向上

- 新技術による維持管理の更なる効率化
- 将来の労働力不足を見据えた省力化技術の開発
- DXを通じたサービスや業務プロセスの再デザイン

④ グループ総合力の強化

サステナビリティの推進、新事業創造への挑戦、生産性の向上をグループ体となって取り組むためグループ総合力を強化

- 重要テーマごとに首都高グループ内の連携・協働を強化
- グループ全体を通じた活力と魅力にあふれる人と職場づくり
- 首都高グループのブランド向上のための積極的な情報発信

6つの重要テーマ


高速道路事業に関する分野

①  安全・安心の追求

②  快適・便利なサービスの提供

関連事業・社会貢献事業等に関する分野

③  成長分野への挑戦

④  環境・社会への対応、都市・まちづくりへの貢献

経営基盤に関する分野

⑤  技術開発・DXの推進

⑥  活力と魅力にあふれる人と職場づくり

1. 中期経営計画2024-2026の策定 ~安全・快適な首都高、そして持続的な進化と新たな挑戦~

[3] 取り組む6つのテーマ①②

① 安全・安心の追求

・ 新技術の実装による維持管理の更なる効率化

お客さまに安全・安心に首都高をご利用いただくため、新技術を活用して効率的かつ着実に維持管理を実施します。

■ 安全・DREAMs®の更なる進化・高度化

i-DREAMs®

首都高グループが2017年から運用開始したインフラの効率的な維持管理をトータルに支援・実現するデータプラットフォーム

■ 点検新技術の活用

損傷検知

センシング



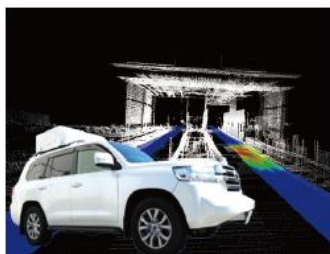
3次元点群

VR・MR

■ 点検用ドローン



■ 3D ETC Doctor

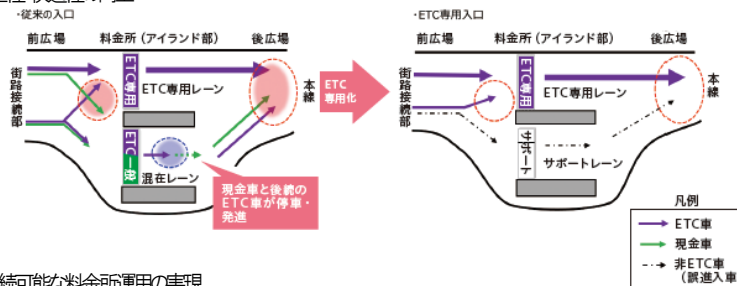


② 快適・便利なサービスの提供

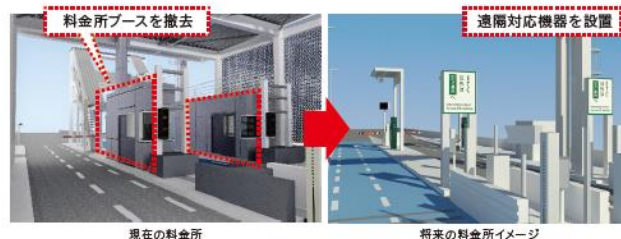
・ ETC専用化の推進

ETC専用化の早期概成に向けた取り組みを進め、安全性・快適性の向上や持続可能な料金所運用の実現、新たなサービスの提供を目指します。

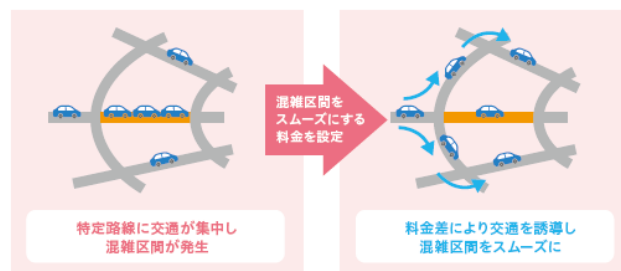
■ 安全性・快適性の向上



■ 持続可能な料金所運用の実現



■ 新たなサービスの提供



1. 中期経営計画2024-2026の策定

～安全・快適な首都高、そして持続的な進化と新たな挑戦～

[3] 取り組む6つのテーマ③④

③ 成長分野への挑戦

・ 国内・海外における社会インフラサポート事業の拡大展開

これまで取り組んできた国内外のコンサルティング事業やメンテナンス事業を「社会インフラサポート事業※」と位置付け、得意分野や独自技術を発展させるとともに、新分野・新顧客・新地域（3NEW）へ拡大・展開します。

■ 新分野・新顧客・新地域
(3NEW)



メンテナンス事業（一般道照明設置工事）



用地補償コンサルティング事業

※ 社会インフラサポート事業：

首都高で培った技術や経験等を活かし、インフラ事業者が抱える課題解決をサポートするもの（国内・海外の技術コンサルティング事業、メンテナンス事業、用地補償コンサルティング事業、建築コンサルティング事業の総称）

④ 環境・社会への対応、都市・まちづくりへの貢献

・ カーボンニュートラルの取り組みの加速

カーボンニュートラルの実現に向け、省エネルギー化への取り組みを進めます。

■ LED道路照明の拡大



■ おおはしりの社において取得した自然共生サイト認定のロゴマーク



■ EV用充電器の拡充



■ 横断幕を活用したはたらくトート



1. 中期経営計画2024-2026の策定

～安全・快適な首都高、そして持続的な進化と新たな挑戦～

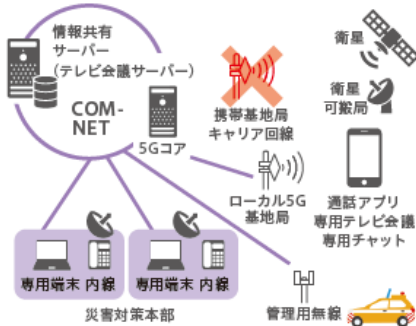
[3] 取り組む6つのテーマ⑤⑥

⑤ 技術開発・DXの推進

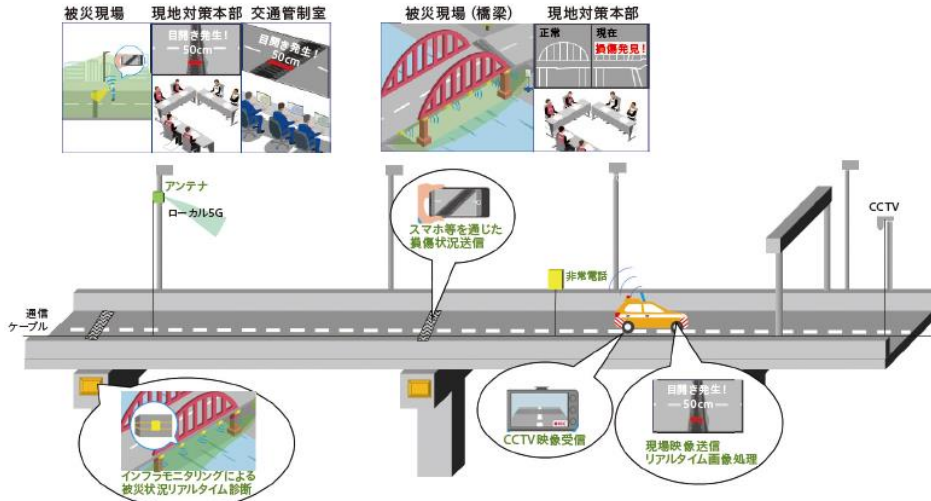
・ 災害への迅速な対応を支援する技術の開発

ますます激化する災害に対し、災害に強い高速道路を実現するとともに、被害発生時の迅速な対応を支援する強固な通信技術の導入を目指します。

■ 災害発生時の情報共有方法の例



■ 道路啓開の効率化に資する活用方法の例



⑥ 活力と魅力にあふれる人と職場づくり

・ 新しい企業価値の創出に向けたプレゼンスの向上

ステークホルダーの皆さまに対し積極的な情報発信を行うなど、企業価値創出に向けたプレゼンスの向上に取り組めます。



テレビ番組での事業紹介



YouTube公式チャンネルでの情報発信



【タイ】現地道路管理会社との現場視察



【IR活動】金融機関等を対象とした点検・補修デモ

2. 2024年度事業計画の概要

- 2024事業年度は、計画的で適切な維持管理や大規模更新・修繕など安全・安心の追求、ネットワーク整備、道路交通情報など快適・便利なサービスの提供等を着実に推進

高速道路事業:2,521億円(前年度:3,245億円)

事業区分	事業の概要	事業費	参考(前年度)
高速道路の新設、改築	・新大宮上尾道路(与野～上尾南)等の新設、改築	99億円	89億円
	・日本橋区間、東品川栈橋・鮫洲埋立部、高速大師橋の大規模更新	550億円	466億円
高速道路の維持、修繕	・首都高速道路327.2kmの維持、修繕	1,311億円	1,697億円
	・大規模修繕等	562億円	993億円

高速道路事業以外の事業:146億円(前年度:154億円)

事業区分	事業の概要	事業費	参考(前年度)
パーキングエリアの管理	八潮パーキングエリア等の管理	0.4億円	0.4億円
国、地方公共団体等からの受託事業	新大宮上尾道路の受託事業等	118億円	128億円
その他の事業	駐車場事業、首都高速2号線高架下施設事業等	28億円	25億円

3. 新設・更新事業等の進捗状況

【新たな更新事業(新規事業着手)】

- 2014年度から開始した法定点検において、新技術も活用しつつ、より詳細な点検を行ったことにより、新たに更新が必要な箇所が21.6Km判明し、抜本的な対策として3,056億円
- の更新事業を2024年度から新たに着手
- 2024年度は、速やかな工事着手に向けて設計や関係機関協議などを実施予定

羽田トンネル (新たに更新が必要な箇所の例)

中床版上面のコンクリートはく離

中床版上面の鉄筋消失

部分補修

再構築

中床版の補修・再構築

対策内容

- ・損傷部位(中床版等)の補修・再構築
- ・トンネル躯体のせん断補強
- ・トンネル内面の表面被覆による劣化因子の遮断

対策内容

- ・壁面補修
- ・せん断補強範囲
- ・トンネル内面の表面被覆

荒川湾岸橋 (新たに更新が必要な箇所の例)

開通直後

損傷した部材の補修・取替

点検通路の増設

損傷部位(ガセットプレート)等の補修・取替

下地から塗装を塗替え

対策内容

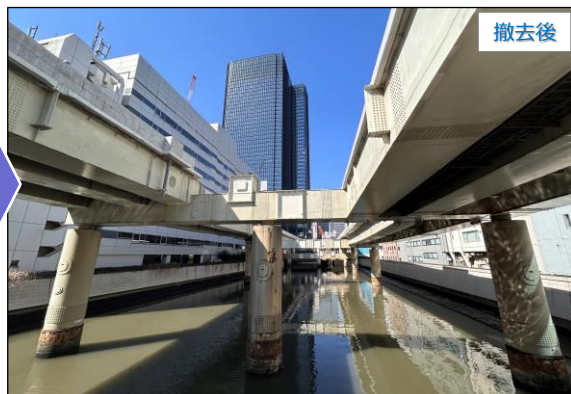
- ・損傷部位(ガセットプレート等)の全面的な補修・取替
- ・塗膜を全て除去し、高耐久な塗装への全面的な塗り替え
- ・アクセス困難箇所点検通路等を設置して維持管理性を向上



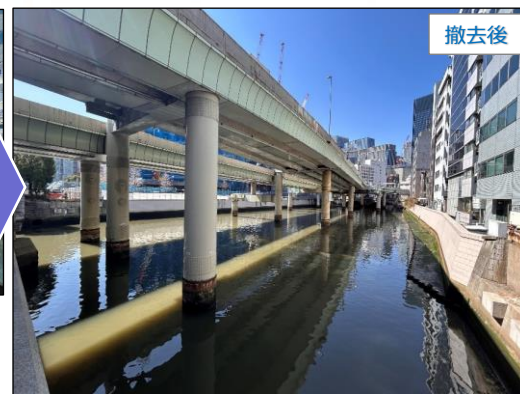
3. 新設・更新事業等の進捗状況

[日本橋区間地下化事業]

- 2021年4月から着手した呉服橋・江戸橋出入口撤去が2023年度に完了（日本橋川上空に約1割の青空が戻る）
- 2024年度より、工事説明会を実施した上で地下化ルート整備に向けてトンネル工事などの現場作業に着手



写真① 呉服橋出入口の状況(撤去工事完了)



写真② 江戸橋出口の状況(撤去工事完了)

3. 新設・更新事業等の進捗状況

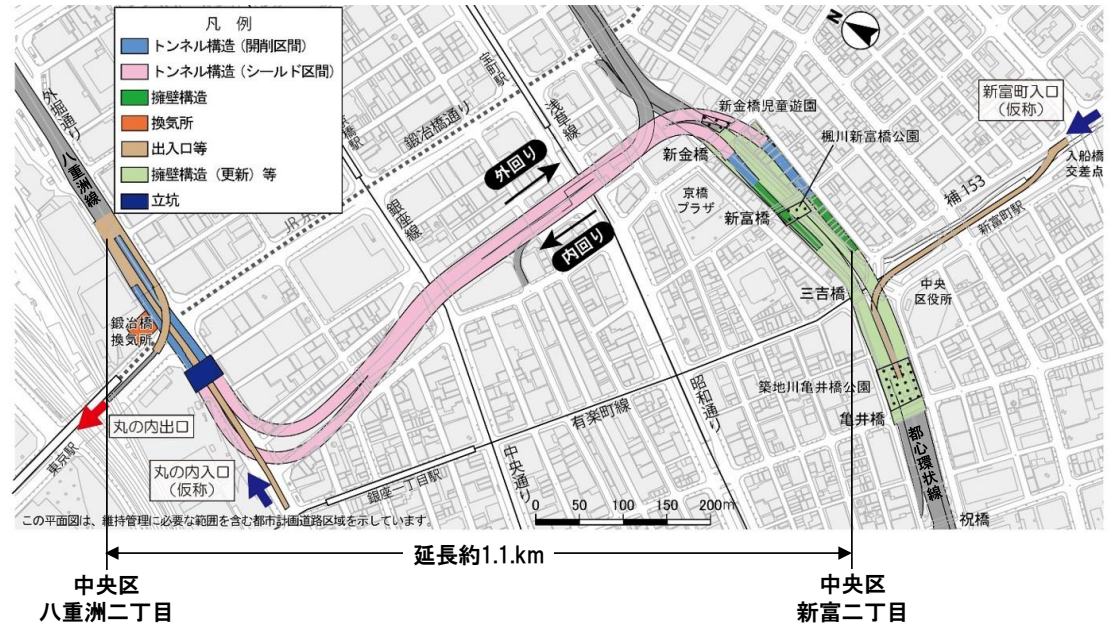
[新京橋連結路(新規事業着手)]

- 日本橋区間地下化に伴って一部廃止となる江戸橋JCTの代替機能を確保するため、都心環状線(築地川区間)と八重洲線を地下で結ぶ新京橋連結路の整備を2024年度から新たに着手
- 今後、共同事業者である東京都とともに、2035年度の完成を目指す
- 2024年度は、都市計画事業認可を取得し、事業説明会及び用地補償説明会を開催した上で、地下埋設物の移設工事等に着手予定

■新京橋連結路 位置図



■新京橋連結路 平面模式図

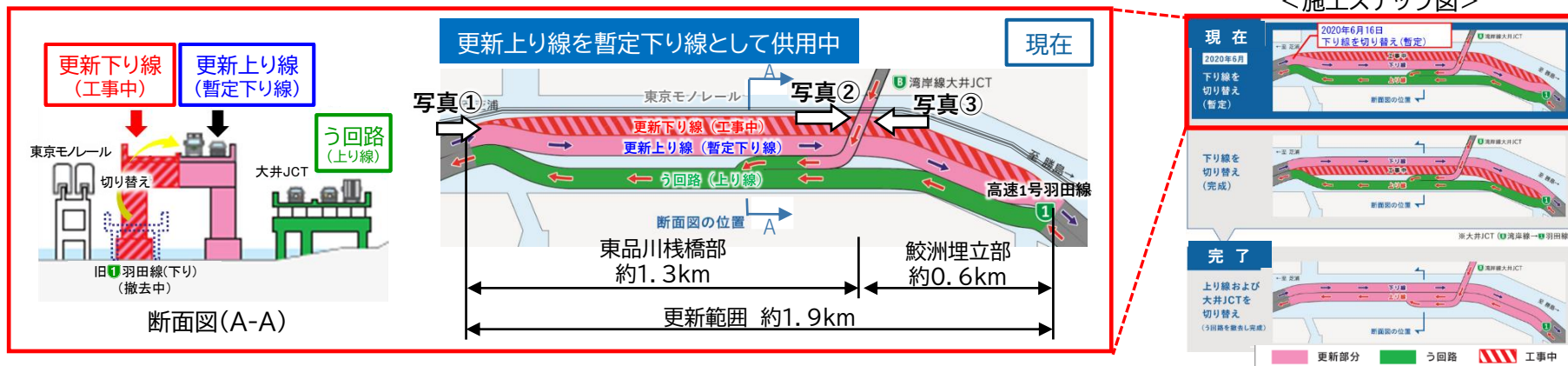


大規模更新事業(築地川区間)及び東京都による街路事業とあわせて事業を実施

3. 新設・更新事業等の進捗状況

[東品川栈橋・鮫洲埋立部更新事業]

- 完成済みの更新上り線と東京モノレールに挟まれた狭隘な空間で「更新下り線工事」を実施中
- 東品川栈橋部は、橋脚の設置が完了しており、上部工を実施中 [写真①②]
- 鮫洲埋立部は、躯体の構築が完了しており、橋面工を実施中 [写真③]



写真① 東品川栈橋部の状況
(主桁架設工)



写真② 東品川栈橋部の状況
(恒久足場設置工)



写真③ 鮫洲埋立部の状況
(落下防止柵設置工)

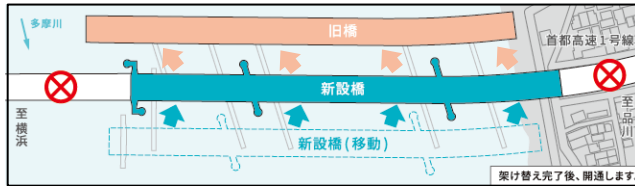
3. 新設・更新事業等の進捗状況

[高速大師橋更新事業]

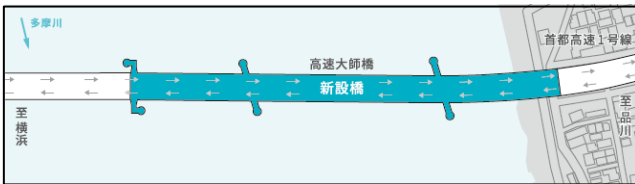
○ 新設橋への架け替え工事が完了し、上流側にスライドした旧橋の解体・撤去を実施中
 (全長約300mのうち、約3割の撤去完了(2024年3月末時点))

<施工手順>

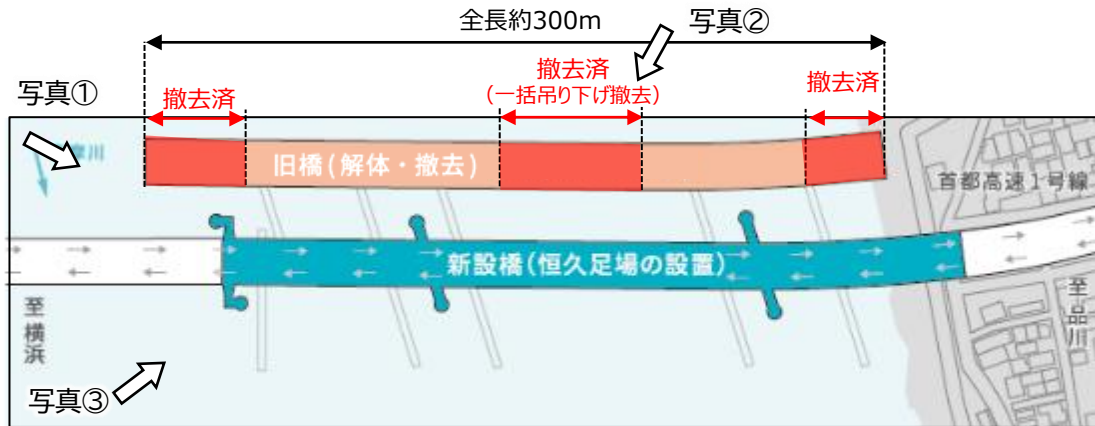
STEP4 旧橋移動・新設桥架設 (2週間通行止め)



完成



STEP5【現在】旧橋解体・撤去、恒久足場の設置



写真① 現場状況(全体)



写真② 一括吊り下げ撤去状況

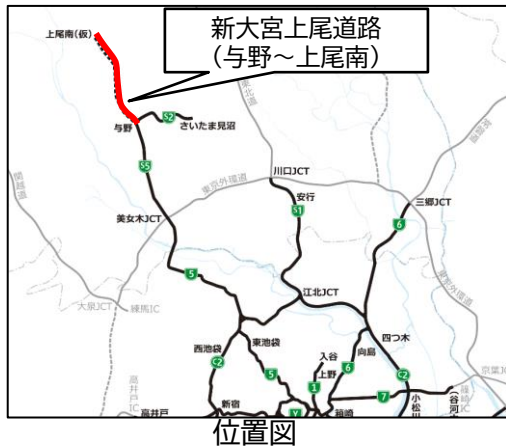


写真③ 台船上での解体状況

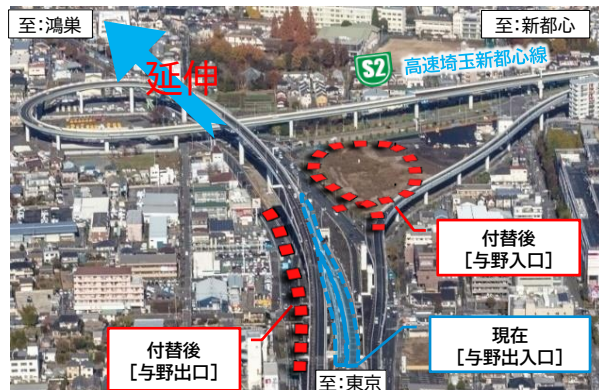
3. 新設・更新事業等の進捗状況

[新大宮上尾道路(与野～上尾南)新設事業]

- 国土交通省関東地方整備局と当社の共同で事業を進めており、用地取得等を実施中
- 与野JCT部では、本線高架橋の工事に先駆けた与野出入口の付替工事に2023年7月から着手
入口部で橋台・橋脚工を実施中。出口部で国道17号バイパス1車線規制による常設作業帯を設置



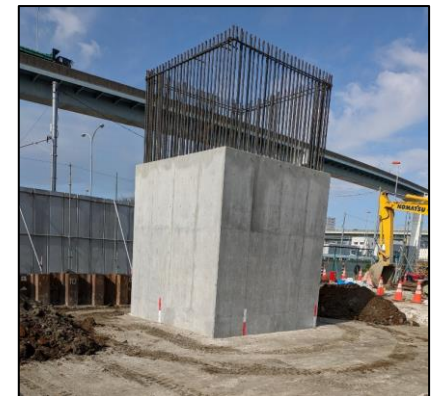
与野出入口
の付替工事



与野出入口付替イメージ(与野JCT付近)



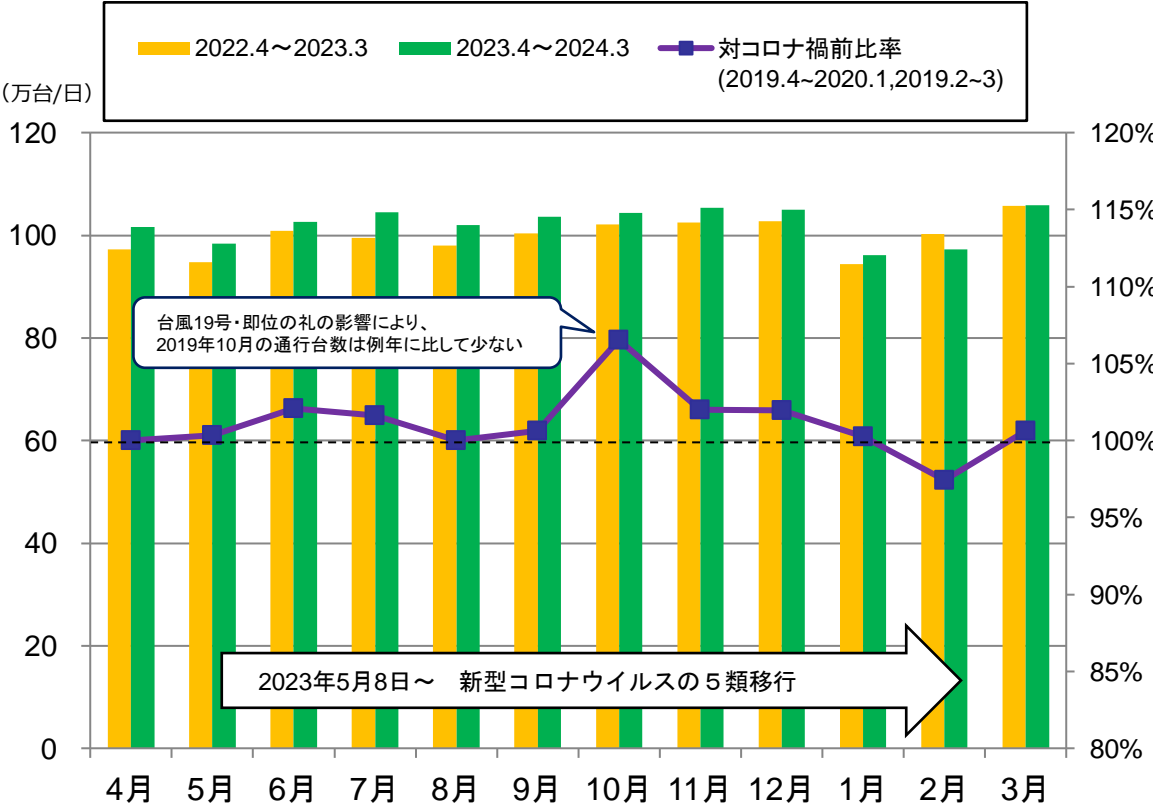
橋台施工状況(与野JCT付近)



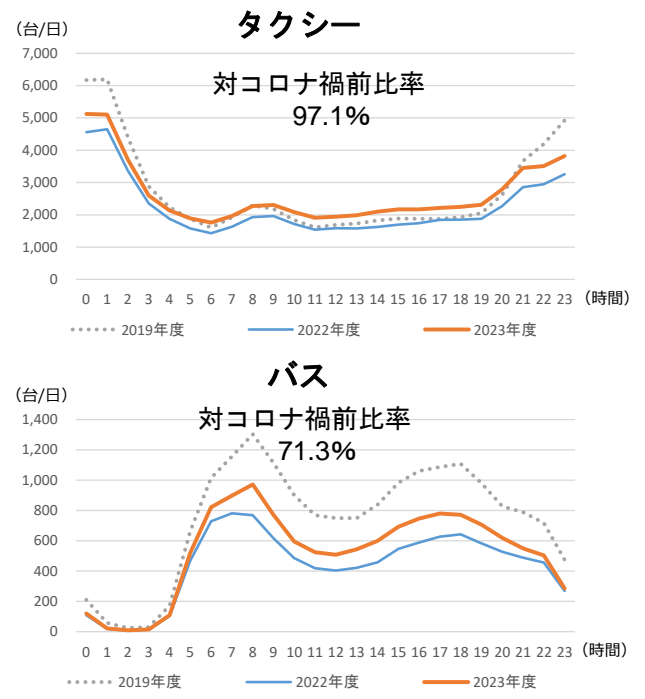
橋脚施工状況(与野JCT付近)

4. 最近の通行台数状況

- 通行台数は新型コロナウイルスの5類移行など社会経済活動の正常化に伴い順調に推移
(今年2月は降雪の影響により対前年比△3.1%)
- 一方、車両分類別の交通量を見ると、タクシーやバスの交通量は、総数は前年度よりも増加しているが、コロナ禍前の水準に戻っていない時間帯も存在する



〈車種別時間帯別通行台数比較〉



	2023年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年1月	2月	3月
通行台数	101.6	98.4	102.6	104.4	102.0	103.6	104.3	105.4	105.0	96.2	97.2	105.9
前年比	+4.6%	+3.9%	+1.7%	+5.0%	+4.1%	+3.2%	+2.1%	+2.8%	+2.2%	+1.8%	△3.1%	+0.1%

(単位: 万台/日)

※2024年3月は速報値